

農 大

だより

令和7年11月1日発行
愛知県立農業大学校

〒444-0802 岡崎市美合町字並松1-2
Tel: 0564-51-1601 Fax: 0564-51-4831
E-mail: noudai@pref.aichi.lg.jp
ホームページ: <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/noudai/>

令和7（2025）年度版



CONTENTS

- 1 専攻紹介（酪農）
- 2 特 集
農起業支援ステーション
- 3 専攻トピックス
- 4 トピックス
- 5 お知らせ（農大祭予告）
- 6 クラブ活動紹介（テニス部・写真部）
- 7 SNS 投稿 dialy

愛知県立農業大学校
公式HP



Instagram



X (旧 Twitter)



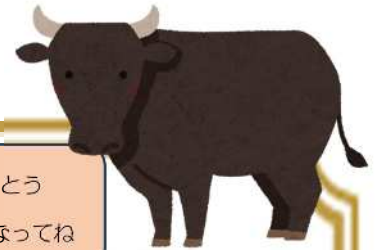
専攻紹介

酪農専攻

酪農専攻では、搾乳牛 24 頭、育成牛 23 頭、肥育牛 13 頭、和牛 4 頭を飼養しており、1 年生 17 名、2 年生 9 名の計 26 名で飼養管理作業を行っています。多くが非農家出身で、入学してから初めて牛と触れ合う学生もありますが、すべての学生が半年ほど一通りの管理方法を身につけます。

酪農は朝夕 2 回の搾乳など毎日欠かさず作業を行う必要がありますが、その結果、学生同士の結びつきは強く、実践的な技術を楽しく身につけることができます。

牛と暮らす毎日



今までありがとう
美味しいお肉になってね



デントコーン! とっても
大きく育ちました



子牛は重いけど、
まだギリギリ運べる



生まれたての小さい命
大きく育ててね



酪農専攻の実習

搾乳



搾乳は毎日2回。
品質の良い生乳を出荷する
ため努力しています。

TMR



搾乳牛へは
TMRという餌
を調整し、給与
しています。
牛の体調等を見
ながら配合を変
更します。

肥育牛



濃厚飼料中心の給与のため、牛の状態に
気をつけながら給与を行う必要があります。

育成牛



しっかり食べて、
24ヶ月齢ごろの
分娩に備えます。

子牛・哺乳



子牛の時期を健康に
過ごすことは、その
後の成長のためにも
大切です。

繁殖



子牛が生まれなければ乳は生産されません。
繁殖管理は酪農経営の根幹を担います。

堆肥



糞は堆肥化して圃場に還元する
循環型酪農を実践しています。

自給飼料・放牧



デントコーンサイレージ等、
自給飼料の作成や牧草地での
放牧にも取り組んでいます。

特 集

あなたの就農を応援します 農起業支援ステーション

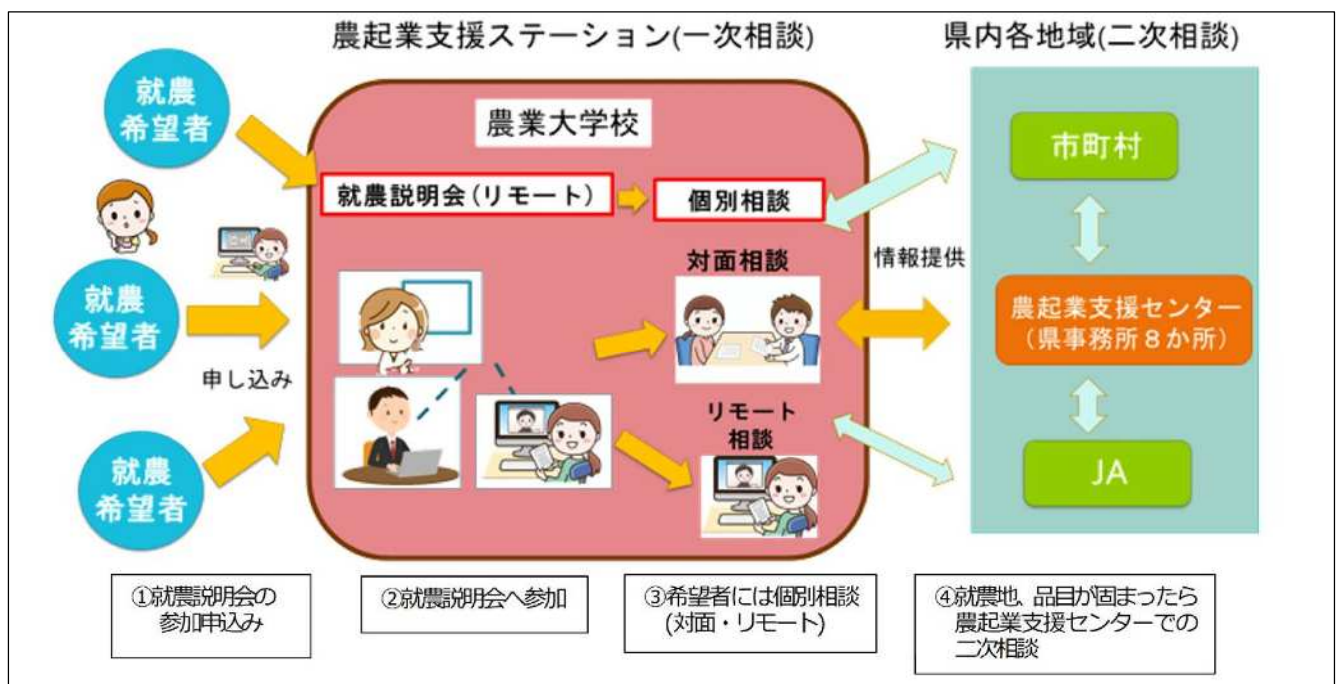
R7.8.30 マイナビ農林水産 FEST の様子

愛知県は、県内全域の就農相談窓口として「愛知県農起業支援ステーション(以下「ステーション」)」を農業大学校内に設置しています。農業大学校では、農業後継者、新たに就農を希望する学生・研修生の育成に加え、就農者確保に向けた相談機能も果たすことにより、愛知県農業の担い手の確保と育成を総合的に支援しています。今回は、ステーションの活動を紹介します。

就農相談の流れ ～就農説明会後に個別相談～

1 就農説明会

「農業を始めたい」希望者には、まず、ステーションが開催する就農説明会(以下「説明会」)に参加してもらいます。就農を考える上で、最低限必要な知識として、就農するまでの基本的な流れと、品目の決定や農地の確保など就農に必要な要件や支援制度などを説明しています。



就農相談の流れ



R7.10.3 先輩農家の講話

説明会は月に2回、基本的にリモートで開催しています。説明会に加えて「農業見学」「JA等産地の研修受入体制の紹介」「先輩農家の講話」を実施する回もあり、この場合には対面でも参加することができます。「先輩農家の講話」では、直接新規参入者から就農に向けた取組や心構え、営農が軌道に乗るまでの苦労など、実体験を直接聞くことができ、参加者からとても好評です。

12月2日に開催する第17回説明会でも計画していますので、就農を検討されている方は、是非ご参加ください。

2 申込方法

説明会の申込はインターネットで受け付けています。農大のWebページの申込みフォームに必要事項を入力することで、お申込みいただけます。(以下のQRコードから農大Webページに入れます)



申し込みが完了すると自動返信メールが届きます。

リモートで参加を希望された方には、開催2日前にCisco Webex MeetingのWeb会議のURLをステーションからメールします。

回	月 日	時 間	申込み締切日
第15回	11月 5日(水)	13:30-15:30	10月30日(木)
第16回	11月21日(金)	18:00-19:00	11月18日(火)
第17回	12月 2日(火)	13:30-15:30	11月27日(木)
第18回	12月17日(水)	18:00-19:00	12月14日(日)
第19回	1月 8日(木)	13:30-14:30	1月 5日(月)
第20回	1月26日(月)	18:00-19:00	1月21日(水)
第21回	2月 5日(木)	13:30-14:30	2月 2日(月)
第22回	2月20日(金)	18:00-19:00	2月17日(火)
第23回	3月 4日(水)	13:30-15:30	3月 1日(日)
第24回	3月13日(金)	18:00-19:00	3月10日(火)

3 個別相談

今後の就農説明会の予定

説明会の後、個別の就農相談(リモート・対面を選択可)の予約を受け付けます。個別相談は事前に就農相談カルテを作成・提出していただいた上で、相談者の希望・状況に合わせてステーションから助言・情報提供をします。

品目や就農地が決まった段階で、就農地を所管する農起業支援センター(県農林水産事務所農業改良普及課)での相談へと移行し、市町村、JA等関係機関も含めて就農に向けて具体的な支援へと繋がります。

ステーションでの就農相談状況と今後の取組

ステーションでの令和7年度上半期の相談者は202人で、昨年度と比較し相談が増えています。

県では、農業の魅力発信と農業を始めたい方への情報提供のため、令和8年2月から農林漁業就業プラットフォームの運用を開始しますので、Webページの更新をお楽しみに!

専 攻 トピックス

最近の各専攻で話題になったことや実習風景などをお届けします！

○専攻別学生数

(注)カッコ内は女子の内数

区分	鉢物・緑花木	切 花	作 物	果 樹	露地野菜	施設野菜	酪 農	養豚・養鶏	計
1 年	7(0)	9(2)	6(1)	15(4)	15(3)	13(2)	17(12)	8(3)	90(27)
2 年	6(0)	8(2)	8(2)	13(3)	13(4)	15(2)	9(4)	4(4)	76(21)
計	13(0)	17(4)	14(3)	28(7)	28(7)	28(4)	26(16)	12(7)	166(48)



鉢物・緑花木

県外学習でスマート農業技術や鉢物の販売方法について学ぶ

鉢物・緑花木専攻2年生は、県外学習として、花き部門の様々な研究を行う農研機構と鉢物で関東最大規模の販売店であるオザキフラワーパークを訪問しました。農研機構では、スマート農業技術を活用し、生産効率の向上を目指す「植物工場つくば実証拠点」での取組や花きにおける最先端の育種事例などについて学びました。オザキフラワーパークでは、鉢物における販売面の現状や収益性の高い経営手法について学びました。

盛りだくさんの内容で非常に有意義な県外学習となりました。



切 花

県外学習で流通について学ぶ

切花専攻では、10月2～3日に2年生が県外学習で東京に行きました。都内の花の小売店や切花の取扱高で国内第一位の市場である大田花きを訪問しました。

大田花きでは、様々な作業の自動化やAIを活用したスマート物流の取組のお話を伺うことができ、大変有意義な時間となりました。





秋冬野菜の収穫が始まる

ようやく暑さが落ち着きサツマイモ、カブ、サトイモ、ラッカセイ、コマツナ等の秋野菜の収穫出荷が始まりました。夏の暑い時期に学生が種をまき、水をかけ、草を抜き育てた野菜です。ぜひ直売で手に取ってみてください。

話は変わりますが、筆者は約半年間育児休暇を取得し9月に職場復帰しました。復帰後の実習では、学生が実習内容を見て人員配分、目標作業終了時間、動線等について話し合い、効率よく実習が行われていました。半年前と比較し成長が著しく、若者の成長は早いことにとても驚きました。今後の学生の成長が楽しみです。



お待たせしました、トマト・ミニトマトの販売はじまりました！

8月、9月は植え替えのためトマトやミニトマトの販売をお休みしていましたが、10月中旬から施設野菜専攻の高軒高ハウスでいよいよ収穫を開始しました。今作では高軒高ハウスで大玉トマトに加えて、ミニトマトの栽培にも挑戦して、ミニトマトの収量アップを目指しています。

直売での販売がはじまったのでぜひ足を運んでください！



お米の収穫が順調に進んでいます

化学農薬と化学肥料を栽培期間中使用していない、環境に優しい米作りを行っているほ場の収穫を行いました。除草剤を使わない栽培では学生が除草を行わないといけない時間が多くなります。ただ、今年は学生が頑張って除草をしてくれたおかげで雑草が少ない状態でした。そのため、雑草に栄養が奪われず立派なお米が育っています。

また、10月下旬には、3.3ha すべてのほ場でお米の収穫が終了する予定です。





果 樹

今年もおいしいジャムができました

果樹専攻では、毎年、収穫した果物の規格外品を利用して、加工演習でジャム作りをしています。今年は、アンズ、モモ、イチジクのジャムを作成し、11月にはマーマレードを作る予定です。ジャム作りの時、学生たちは根気よく煮詰めたり、日持ちや安全性のために糖酸測定もきっちり行って、その数値によって砂糖を追加したりペクチンを追加したりと、工夫しながら作成しています。学生たちが頑張ったジャムは12月の農大祭で販売予定です。ぜひお買い求めください。



酪 農

高さは学生2人分！ ソルガムが大きく育っています

酪農専攻では、牛の粗飼料としてソルガムを栽培しています。ソルガムは8月下旬に播種をして、11月中旬に収穫を予定しています。

今年は天気も良く、2か月でなんと3mを越える背丈になりました。大きく育つ品種をみんなで選びましたが、ここまで大きくなるとは予想しておらず、学生も先生もびっくりです。収穫までの残りひと月でたくさん栄養を蓄えて、美味しい牛の餌になって欲しいです。



養 豚

養 鶏

屋外平飼い飼育に奮闘しています

畜産業界では、近年アニマルウェルフェアに関心が高まっています。当校でも学生の卒業プロジェクトとして、この夏から卵用名古屋コーチンの野外平飼い飼育をしています。単管パイプ、ベニヤ板等により、学生が力を合わせて作成した飼育場で管理をしています。鶏は外観的にはケージ飼育に比べ毛艶がよく感じられます。脱走等のトラブルもありました。

が、何とか夏を乗り越えてくれました。産卵性はケージ飼育に比べてやや劣りますが、卵質向上が見込まれますので、今後は実習販売でお客様の意見を伺いながら、更なる飼育の改良に努めていきます。



トピックス

農水省の視察を受け入れました

9月26日(金)、農林水産省の関係者が本校を訪問し、スマート農業機器の活用状況や学校運営について視察しました。

本校では、令和4年度に国の補助事業により、水稻を刈り取ると同時に収穫量と食味(タンパク値+水分)を自動で測定できるコンバインを導入していますが、今回の視察では、その収穫作業を見学し、学生との質疑応答も行いました。



その後の農大職員との意見交換では、スマート農業技術の導入状況や学生募集、就農支援など幅広い話題が取り上げられ、施設の老朽化や就農の受け皿不足などの課題を共有しました。農水省担当者からは「事業をうまく活用しており、今後も担い手育成に期待したい」との言葉をいただきました。意欲をもって学べる環境作りを今後もめざしていきます。



収量・食味分析システム



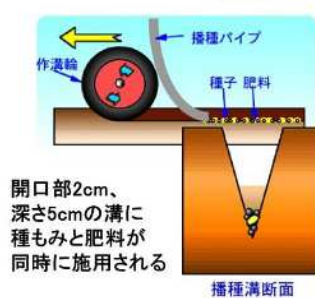
地力マップ

出前講座(作物)を実施しました

10月20日(月)に愛知県立佐屋高等学校で「農大出前講座」を実施しました。同校の生物生産科グリーンコース3年生15名が参加し、愛知県の先進的な稲作として「水稻不耕起V溝直播栽培」を中心にスライド等を用いて農大職員が説明しました。



水稻不耕起V溝直播栽培 不耕起V溝直播機



参加した生徒達は手元のレポート用紙に熱心にメモを取り、真剣に講座に取り組む姿が見られました。高校での授業では移植栽培単独、不耕起V溝直播栽培単独での経営を想定していたようでしたが、現場では両者を組み合わせることで、作業分散、さらなる経営面積拡大を図っていると伝えました。

パソコン農業簿記活用研修を実施しました

9月29日(月)に本校情報処理室において、経営管理研修「パソコン農業簿記活用研修」を開催し、25名の参加がありました。

ほとんどの参加者が8月27日(水)に開催した「パソコン簿記研修入門」で簿記の基礎を学んでから「活用研修」を受講されたため、大変理解が早く、スピーディーに進行しました。

講師の樋田先生による講義では、決算整理の手順から始まり、仕訳、農産物の棚卸、減価償却、保険積立金等の処理方法について、項目ごとに演習問題に取り組みながら、入力操作の実際を学びました。



その後、入力済み伝票のチェック方法、決算修正のポイント、消費税の換算方法等の手法を習得しました。

最後に、経営分析を行い、特に、グラフ化することで「見える化」を図り、経営の改善点を明確にしていきました。

農業関係高等学校農場長との意見交換会を開催しました

10月1日(水)に、農業関係高等学校農場長との意見交換会を行いました。

農大の概要と近況報告、農業高校全体の動向説明に続き、農業高校を対象とした農業大学校出前講座について意見交換を行いました。

和耕寮(学生寮)で昼食を堪能した後、午後は校内ほ場の見学と、各高校卒業生の代表と歓談をしていただき、農大で成長した姿をみせる良い機会となりました。



農業系高等学校後継者等特別推薦入学試験を行いました

9月30日(火)に行われた令和8年度入学農業系高等学校後継者等特別推薦入学試験では、県内農業関係高校6校から、14名が受験しました。そのうちの6名が農業後継者、8名が非農家で卒業後は就農を考えています。

合格発表は10月8日(水)で、14名全員が特別推薦入学試験に合格しました。

今後、一般推薦入学試験が、10月31日(金)に行われます。就農や雇用就農に意欲のある学生の応募を期待しています。



お知らせ

令和8年度入学者選抜試験(一般入学一次試験)

出願期間	11月11日(火)~11月26日(水)
試験日	12月9日(火)
合格発表	12月18日(木)
試験科目	数学Ⅰ、小論文(800字以内)、面接試験
募集人員	定員100名の内、推薦入学合格者を除く数

※ 詳細は、本校ホームページを御覧ください。

願書
受付中!

予 告

農大祭2025を開催！！

愛知県立農業大学校は、農畜産物販売などを通して地域の方との交流を図り、農大を身近に感じてもらい、愛知県の農業の魅力を発信することを目的に「農大祭 2025」を開催します。

■ 開催日時

12月6日(土) 午前9時から午後1時まで(入場開始 午前8時30分)

公共交通機関の御案内：名鉄美合駅下車 南へ徒歩10分

■ 主な内容

① 農畜産物の直売、食品バザー

各専攻で育てた鉢植え、切花、米、果樹、野菜、卵などの直売。五平餅、からあげ、焼きいもの販売など。

② 農業大学校のPR

各専攻のパネル展示、キャンパスツアー

③ 各種団体・企業ブース

農業大学校に関係する団体、企業がブースを出展し、展示や即売を行います。

※駐車場は例年混雑するため、公共交通機関を御利用ください。

※家畜防疫上、ペットの同伴はご遠慮ください

ポスターの部

【リーフレット採用】

酪農専攻 1年 大脇 亜美

<コメント>

農大祭は学生みんなで生産したものを普段見ることのない一般の方々に見てもらえる素敵な機会です。少しでも多くの方々に来てもらいたい気持ちをイラストにしました。農大がどんな学校か知る機会になることを願っています。



テーマの部

「ぶちまけろ 自分の心に 秘めたモノ」

露地野菜専攻 2年 小寺 輝

<コメント>

動いて!働いて!頑張って!やっとの思いで迎えた
農大祭! 悔いの残らないように自分の気持ちをぶ
ちまけ、魂震わして楽しみましょう!!



ポスターの部

【新聞折り込みチラシ採用】



切花専攻 1年 杉山 そら

<コメント>

とても嬉しいです。
ポスターを通して農大
祭に来てくださる方が
増えたらいいと思い
ます。



SNS 投稿 dialy

農大公式アカウント: Instagram・X(Twitter)
アカウント名 **「aichinoudai」**

通番 (投稿日) 内 容

71 (9月 25 日) 輪ギクの定植

72 (10 月 1 日) さつまいもの収穫

73 (10 月 2 日) トマトが着果しました

74 (10 月 2 日) 大型特殊免許取得研

75 (10 月 3 日) 農林水産 FEST に出展

76 (10 月 6 日) シャインマスカットカフェ

77 (10 月 9 日) 大特技能試験、全員合格

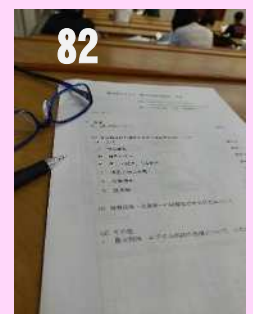
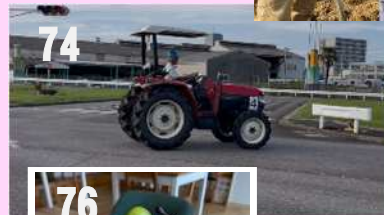
78 (10 月 14 日) ビオラ咲きました！

79 (10 月 14 日) 10/15 農産物実習販売

80 (10 月 14 日) トマトが着色してきました

81 (10 月 21 日) 10/22 農産物実習販売

82 (10 月 24 日) 農大祭実行委員会



Follow Me !!

